

令和 5 年度 ニシン漁獲物調査速報 (1)：厚田地区

1～3月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 6 年 1 月 22 日に石狩湾漁協厚田地区で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

1月22日の厚田地区では、「メス」、「オス特大」、「オス大」の3銘柄が主に水揚げされており、聞き取りによると、未熟メスの出荷は少ないとのことでした。

2. 銘柄「メス」の結果：卵巣完熟率は100%

銘柄「メス」の標本 48 尾中、すべての個体で卵巣は完熟状態（卵巣の色は透明感ある黄色で、腹部を圧迫すると卵粒が総排出口から出てくる）でした。平均卵巣重量（最小～最大）は、89.0 g (59.9～128.6 g) でした。尾叉長 31 cm 台の個体が多く（図 1）、体重 280～379 g の大型個体が中心となっていました。

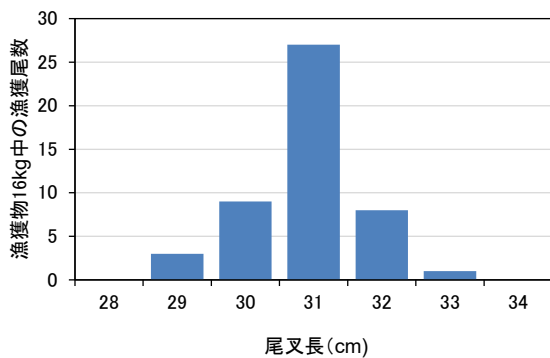


図 1 銘柄「メス」の尾叉長組成

3. 銘柄「オス特大」の結果

銘柄「オス特大」の標本 46 尾は全て放精前（精巣は白濁し肥大しているが、液状の精子は充填していない）のオスでした。尾叉長は 32 cm 台および 31 cm 台が多く（図 2）、体重 330～429 g の個体が中心でした。

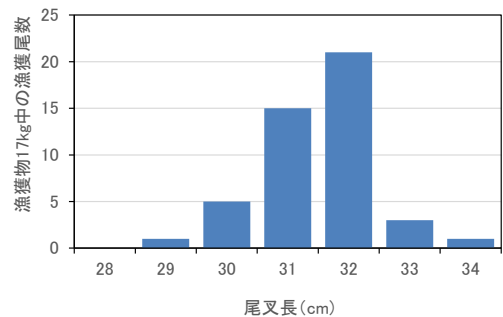


図 2 銘柄「オス特大」の尾叉長組成

4. 銘柄「オス大」の結果

銘柄「オス大」は、49 尾中 48 個体は放精前のオスでしたが、1 尾は精巣がやや小さくなっており放精中と思われるオスでした。尾叉長は 31 cm 台が多く（図 3）、体重は 280～379 g の個体が中心でした。

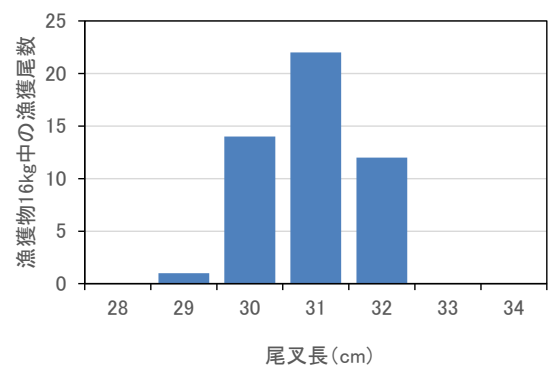


図 3 銘柄「オス大」の尾叉長組成